

平成29年度 事業報告

平成27年10月に厚生労働省が公表した「患者のための薬局ビジョン」は、2025年の地域包括ケアシステムの構築を見据え、地域住民の健康相談を担い、健康寿命の延伸に寄与する「かかりつけ薬剤師・薬局」像を示した。

新潟県では、平成30年3月に第7次新潟県地域保健医療計画が本会も参画して策定され、その中では、薬剤師が後発医薬品の使用を促進すること、重複投薬の防止や残薬管理等を実施することで、医療費の適正化に寄与することが期待されている。

また、新潟県地域医療構想においても、薬剤師が地域の実情に応じた地域包括ケアシステムの構築に参画して、その役割を担うことが求められている。

さらに、「経済財政運営と改革の基本方針2017」では、調剤報酬の見直しについて、対物業務の適正化と対人業務を重視した評価、薬局の機能分化のあり方の検討、様々な形態の保険薬局機能に応じた評価、薬剤師が地域における多職種や関係機関と連携して服薬情報の一元的・継続的な把握等の機能を果たすことを推進していくことが示された。

一方で昨年、調剤報酬の不正請求事案等が相次いで明らかになり、薬剤師・薬局への信頼が揺らぎかねない事態が生じた。

こうした背景の下、平成30年度診療報酬改定においては、「医科：歯科：調剤＝1：1.1：0.3」の改定比率が堅持され、診療報酬本体＋0.19%の改定となったが、薬価等の引き下げの他、大型駅前薬局に対する適正化が通常改定分とは別に講じられたことを考慮すれば、保険薬局の経営に大変厳しい内容となったと言わざるを得ない。

新潟県から受託した、厚生労働省の「患者のための薬局ビジョン推進事業」では、薬局薬剤師の在宅医療サービス推進強化事業として「多職種連携によるなじらね訪問服薬サポート」を実施して、にいがた健康支援薬局をはじめとした参加薬局の協力による、かかりつけ薬剤師・薬局の機能強化に取り組んだ。また、「健康サポート薬局」の届出に必要な研修会を日薬等と連携して開催して薬局薬剤師を支援した。平成30年2月末日現在の「健康サポート薬局」は、新潟県では16件になった(全国では788件)。

在宅医療推進のため、医療介護総合確保推進法に基づく基金事業では、地域薬剤師会や関係機関と連携して、訪問薬剤管理指導に取り組む薬剤師のスキルアップや無菌調剤室共同利用の推進に向けた研修を実施して人材育成及び環境整備等に取り組み、薬剤師の認知症対応力向上のための研修事業を実施した。また、新潟県の「介護予防活動普及展開事業」に参画した。

薬学実務実習への対応については、平成31年2月から開始される改訂モデル・コアカリキュラムに基づく実務実習に向け、認定実務実習指導薬剤師のためのアドバンスワークショップを開催してスキルアップを図った。

平成29年9月17日、18日の2日間、新潟市の朱鷺メッセにおいて開催した第57回北陸信越薬剤師大会及び第50回北陸信越薬剤師学術大会では、多くの演題発表に加え、シンポジウムや特別講演の実施により県内外から800名を超える薬剤師が参加し、大会運営等において参加者から高い評価を得た。

なお、大会期間中に開催した北陸信越ブロック会長会議では、敷地内薬局の誘致に断固反対する旨の決議を行うとともに、他都県薬剤師会と共同で関東信越厚生局長へ要望書を提出するなど、行政機関の長に面会して敷地内薬局を誘致しないよう要望した。

また、平成30年2月に開催された「にいがた妙高はね馬国体」では、平成32年の東京オリンピック・パラリンピックを見据え、薬剤師及びスポーツファーマシスト等によるアンチ・ドーピング活動への支援を行った。

薬剤師の学術研究発表を支援するため、人を対象とする医学・薬学系研究の倫理的・科学的観点から倫理審査を実施する、学術研究倫理審査委員会の設置に向けた検討を行った。

さらに、日薬と共同で調剤報酬の不正請求が行われていないことを確認するため、自主点検調査を行い、会員薬局への注意を喚起するとともに、偽造医薬品等の流通防止に係る医薬品医療機器等法施行規則の省令改正を受けて、不適正な医薬品の流通防止の徹底について周知を図った。

薬局・薬剤師を取り巻く状況は、安全な医薬品の供給、電子処方箋や電子版お薬手帳等のICT化への対応、敷地内薬局等の課題が山積しているが、今後も行政や医師会等の関係団体等との連携を図りながら、県民の健康な生活の確保・向上に寄与するための事業展開が求められる。

1 災害等対策の推進

(1) 災害対策にかかる整備及び啓発（継続）

- ① 平時の防災対策、災害時の対応、災害医療等について、会員及び地域薬剤師会担当者を対象に研修会を開催した。

講演 災害時医療と薬局・薬剤師に求められる役割について

講師 新潟大学医学部災害医療教育センター特任講師 和泉邦彦氏

災害シミュレーションゲーム 災害時の薬局対応を考えよう ～発災後3日間の備え～

講師 新潟県薬剤師会会長 山岸美恵子氏

- ② 地域薬剤師会の災害対策実施状況に関するアンケート調査を実施し、県薬と地域薬剤師会が連携して活動できるよう、防災対策及び災害時の対応等について情報交換した。
- ③ 「新潟県薬剤師会災害対策マニュアル」に則り、災害発生時の情報伝達について、役職員の緊急連絡網により情報伝達訓練を実施した。
- ④ 災害時に必要と思われる備蓄品等を追加購入した。
- ⑤ 新型インフルエンザ等対策訓練に参加するとともに、対応について会員へ情報提供した。

(2) 行政等との連携協力体制の整備（継続）

- ① 新潟県防災会議及び新潟県災害医療連絡協議会に参加して、行政との連携体制の推進を図った。
- ② 新潟県・上越市が主催した総合防災訓練に参加し、上越薬剤師会と協力して、救護所での医薬品供給の訓練を行った。
- ③ 指定地方公共機関として新潟県と連携協力して新型インフルエンザ等対策訓練に参加した。

(3) 災害時の救援活動等への協力・対応(継続)

- ① 新潟大学医学部災害医療教育センターが主催したPhDLSプロバイダーコースに参加し、情報収集を行った。
- ② 新潟県医務薬事課との業務打ち合わせ会において、災害時の医療用医薬品の備蓄、災害薬事コーディネーターの設置、災害に関する県との協定見直しについて検討いただくよう引き続き要望した。

2 組織強化対策

(1) 会員増強対策の推進(継続)

組織強化の基盤である会員の増加策として、会員証を発行し、「勤務者(B)会員」の加入促進を図った。また、オーナー会議を開催して意見交換を行った。

(2) 若手リーダー養成事業の実施(継続)

- ① 青年部の企画により、若手薬剤師の指導者養成を目的とした若手薬剤師フォーラムを開催した。

テーマ 未来のための働き方改革 ～続けたい！生涯薬剤師～

講演 日本薬剤師連盟の最近の活動について

講師 日本薬剤師連盟副会長 荻野構一氏

基調講演 ワークライフバランスの実現に向けて

講師 たかの社会保険労務士事務所代表 高野真規氏

- ② 青年部の企画により、若手薬剤師フォーラム参加者のための「フォローアップ研修」を実施した。

テーマ 未来のための働き方改革 ～続けたい！生涯薬剤師～

(3) 青年部の活動の活性化(拡充)

- ① 青年部員の交流等を図るため定例集会を開催した。
- ② 一層充実した服薬指導のための知識を深めることを目的として、女性薬剤師会との共催で研修会を開催した。

テーマ 食物アレルギーの方への栄養指導と食事提案

講師 新潟県栄養士会 栄養ケア・ステーション

管理栄養士、アレルギー大学講師 萱場佳代氏、アシスタント 山川琴栄氏

- ③ 長岡市薬剤師会の依頼で、「すこやか・ともしびまつり 2017」でのブース出展に協力し、「わくわく調剤体験」を行った。

また、地域保健委員会と協働して、「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2017」にて、お薬相談等のブースを出展した。

下越薬剤師会からの依頼で、「新発田市健康づくりフェスティバル」でのブース出展に協力し、薬物乱用防止啓発の展示等を行った。

- ④ 交流イベントを開催して、部員・会員等相互の親睦を図った。
- ⑤ 第57回北陸信越薬剤師大会及び第50回北陸信越薬剤師学術大会の開催に合わせて、県

内外の若手薬剤師同士の親交を深める交流として、「北陸信越ブロック若手薬剤師交流会」を開催した。

- ⑥ 若手薬剤師フォーラム及びフォローアップ研修の企画・運営を通じ、本会事業との連携により組織強化に努めた。
- ⑦ 活動内容を青年部員に広報するため、青年部メールマガジンを随時配信するとともに、県薬ホームページにメールマガジンを掲載して広報した。部員同士の繋がり強化のため、部員名簿をメールマガジンに添付して配信した。また、青年部Facebookに活動内容等を投稿して、青年部の対外的な広報を行った。

(4) 地域薬剤師会事務局の支援(継続)

地域薬剤師会事務局体制に応じた支援策を講じて、地域薬剤師会活動の充実・強化に努めた。

(5) 部会活動への支援と情報交換会の開催(継続)

組織強化策の一環として、各部会の活動状況等について情報交換を行った。また、相談役と部会長合同の懇談会を開催し、県薬事業について報告し意見交換を行った。

3 未就業薬剤師の就業促進

(1) 薬剤師無料職業紹介所(継続)

ホームページ等を通じて「薬剤師バンク」の広報を行い、未就業薬剤師の就労促進・斡旋を行った。

4 試験検査の実施

(1) 委託検査等の実施(継続)

試験検査委託契約を結ぶ施設を対象とした医療用医薬品・一般用医薬品・薬局製剤の計画的試験検査を実施した。

(2) 依頼検査等の実施(継続)

薬局等からの依頼に応じて薬局製剤の検査を実施した。また、日薬の「医薬品試験検査に係る精度管理試験」、「医薬品形状の機能性表示食品を対象とした崩壊試験」及び厚生労働省の「登録試験検査機関間比較による技能試験」に参加した。

(3) 研修会等への参加(継続)

日薬主催の試験検査センター技術研修会に試験検査室職員を派遣し、試験検査技術の向上を図った。

(4) 試薬の販売(継続)

学校給食衛生管理定期検査で使用する食器の残留物検査用試薬を調製し、学校・学校薬剤師等へ販売した。

5 医療保険制度への対応

(1) 保険薬局個別的研修会の開催(継続)

調剤報酬の適正請求を図るため、「保険薬局業務点検相談会」として開催した。

- ① 調剤報酬に係る研修会に参加しづらい地域の会員をフォローするため、佐渡薬剤師会の協力を得て研修会を開催した。

講演 最近の保険薬局における調剤報酬算定の問題点

講師 新潟県薬剤師会常務理事 原 正氏

テーマ 保険請求に係るQ&A

講師 新潟県薬剤師会副会長 荻野構一氏

新潟県薬剤師会常務理事 原 正氏

講演 最近の中央の動向について

講師 新潟県薬剤師会副会長 荻野構一氏

- ② 「いまさら聞けない保険薬局点検相談会」として、新規及び集团的個別指導対象等の保険薬局の会員を対象に個別面談による研修会を開催した。

(2) 保険薬局研修会の開催(継続)

保険薬局の質的向上を目指し、全保険薬局を対象に、調剤報酬改定と今後の保険薬剤師が果たすべき役割等について研修会を開催した。

第1部 講演 個別指導指摘事項と調剤報酬算定Q&Aについて

講師 新潟県薬剤師会常務理事 原 正氏

第2部 講演 平成30年度調剤報酬改定について

講師 日本薬剤師会常務理事 安部好弘氏

(3) 集団指導、個別指導への立会い(継続)

関東信越厚生局新潟事務所及び新潟県と保険薬局指導計画に係る打合せ会を開催し、意見交換を行うとともに、関東信越厚生局及び新潟県による集団指導、集团的個別指導、個別指導に立会い、当該指導の円滑な実施と適正な保険請求事務の推進に努めた。

(4) 「保険薬局だより」の作成(継続)

保険調剤に関する通知等の情報および質問について、会誌「ジャニファ」等に掲載するなどして周知を図った。

(5) 10都県薬剤師会社会保険担当者連絡協議会への参加(継続)

関東信越厚生局管内の各都県事務所による保険薬局指導等や調剤報酬請求審査の状況等に関する意見交換を行った。

(6) 平成30年度調剤報酬改定等説明会への参加(新規)

日薬主催の平成30年度調剤報酬改定等説明会に参加した。

(7) 平成30年度調剤報酬改定説明会の開催(新規)

平成30年度調剤報酬改定に関する説明会を開催して、会員への周知を図った。

- 講演 平成30年度調剤報酬改定のポイントとその考え方
講師 新潟県薬剤師会副会長 荻野構一氏(長岡)
新潟県薬剤師会副会長 上野憲夫氏(上越)
新潟県薬剤師会常務理事 原 正氏(新潟)

(8) その他

- ① 日薬より、医療機関による敷地内薬局の誘致について、各地における情報提供の依頼があったことを受け、新潟県病院薬剤師会及び地域薬剤師会の協力を得て情報収集を行った。
- ② 日薬からの依頼により、会員保険薬局に対して調剤報酬の適正な保険請求に係る自主点検調査を2回実施して報告した。

6 医薬分業に係る質的向上対策

(1) 医薬分業及び「かかりつけ薬局・薬剤師」の定着促進(拡充)

- ① 「薬と健康の週間」に合わせ、薬局に厚労省作成のポスター、リーフレットを配布し、医薬品及び薬剤師の役割に関する正しい認識の普及啓発を図った。
- ② 日薬が行う「薬と健康の週間」における全国統一事業に協力し、同事業の啓発資材を薬局に送付するとともに、メール等で周知した。
- ③ かかりつけ薬局として機能強化を推進するため、「にいがた健康支援薬局」について、説明用動画を作成して参加薬局の拡大を図った。また、市町村・地域包括支援センター等、関係機関へ「にいがた健康支援薬局」啓発チラシを送付する等、地域住民への周知に努めるとともに、第57回北陸信越薬剤師大会及び第50北陸信越薬剤師学術大会において広報した。さらに、「にいがた健康支援薬局メールマガジン2017」を配信し、参加薬局の支援に努めた。
- ④ 「健康サポート薬局」の整備に向けて薬局を支援するため、日薬に協力して「健康サポートのための多職種連携研修」を開催した。

第1部 健康サポート薬局の基本理念

- 講演 健康サポート薬局の基本理念(DVD講義)
講師 日本薬剤師会会長 山本信夫氏
講演 健康サポート薬局の理念 ～地域包括ケアに対応した薬局・薬剤師～
講師 新潟県薬剤師会常務理事 笠原敦子氏

第2部 当該地域の医療・保健・健康・介護・福祉等の資源と役割の現状

- 講演 新潟県における健康課題と健康増進施策等について
講師 新潟県福祉保健部健康対策課健康食育推進係長 白砂城芳氏
講演 健診を活用した生活習慣病予防のための取り組みについて
講師 新潟大学医歯学総合研究科生活習慣病予防検査医学講座
特任教授 加藤公則氏
講演 上越市の在宅訪問栄養指導の現状と多職種連携について
講師 特別養護老人ホームいなほ園管理栄養士 大平真由美氏
講演 新潟県における医療・保健・健康・介護・福祉等の資源について
講師 新潟県薬剤師会常務理事 笠原敦子氏

第3部 健康サポート薬局のあるべき姿や、地域包括ケアシステムの中で健康サポート薬局としての役割を発揮するための各職種・機関との連携に関する演習

- ⑤ 新潟県を通じ厚生労働省より受託した「平成29年度患者のための薬局ビジョン推進事業」として、「薬局薬剤師の在宅医療サービス推進強化事業～多職種連携によるなじらね訪問・服薬サポート～」として、以下の取り組みを実施した。
 - ・在宅医療・介護のICT連携ツールへの参加と参加機関との情報共有、介護支援専門員からの働きかけによる介護サービスを活かした服薬サポート、医療保険者(市町村国保)との連携(3つのアプローチによるモデル事業)を実施した。
 - ・「にいがた健康支援薬局」をはじめとする参加薬局の拡大を図った。
 - ・県民への事業の周知・啓発に努めた。
- ⑥ 薬剤師業務の見える化を図るため、県薬青年部と協力し「お薬手帳」の活用について検討会議を開催するとともに、県薬青年部員に協力を依頼し、患者プロフィール欄の更なる活用に関する取り組みの実施を呼びかけた。また、青年部員の先行実施を紹介し、会員に患者プロフィール欄の更なる活用に関する取り組みの実施を呼びかけた。
- ⑦ 薬局等における認知症及び服薬軽度認知障害の早期発見や服薬支援に関する検討会議を開催した。
- ⑧ 「平成28年度患者のための薬局ビジョン推進事業」の事業成果を広報するため第50回北陸信越薬剤師学術大会及び第50回日本薬剤師会学術大会にて口頭発表を行った。

(2) 処方箋応需薬局名簿の作成(継続)

新潟市薬剤師会が行う「処方箋応需薬局名簿の作成」を助成し、医薬分業の推進を図った。

(3) 休日等の医薬品供給体制整備(継続)

輪番制による休日当番薬局をホームページに掲載し、休日における薬局の開局状況を広報することにより、医薬品の調剤・供給体制の確保を図った。

(4) 日薬の医薬分業に係る会議等への参加(拡充)

日薬から要請を受け、厚生労働省が主催する平成29年度かかりつけ薬剤師・薬局推進指導者協議会に出席した。健康サポート薬局研修の充実に向け、健康サポート薬局担当者全国会議へ役員を派遣した。また、日薬の「患者のための薬局ビジョン」実現に向けた担当者合同会議に出席した。

(5) 医療ICT化への対応(新規)

- ① 日薬の薬剤師資格証発行に係る実務説明会に出席して情報収集に努めた。
- ② 日薬が行う薬剤師資格証の発行事業に協力するため、事業受託のための覚書を締結した。

7 リスクマネジメント対策

(1) 薬局における医療安全管理体制の整備(拡充)

- ① 薬局開設者が管理者に受講させることが義務付けられている医療安全に係る研修として、「リスクマネジメント研修会」を新潟県病院薬剤師会と共催した。

講演 「お薬手帳」活用の活動報告～患者プロフィール欄から見直そう！～

講師 新潟県薬剤師会理事 長澤貴明氏

特別講演 「薬剤師として必要な知識と技能について考える ～医薬品安全とポリファーマシー対策を推進するために～」

講師 春日部中央総合病院薬剤部長 小田 慎氏

②「薬局プレアボイド」について、役員を対象に説明会を開催した。

講師 東京大学大学院薬学系研究科育薬学講座客員教授 澤田康文氏

(2) 高度管理医療機器販売等に係る継続研修会の開催(継続)

日薬が主催する「高度管理医療機器販売等に係る継続研修会」に共催し、医療機器販売等の販売管理者を対象として継続研修会(2会場:新潟・長岡)を開催した。

講演 医薬品医療機器等法その他薬事に関する法令

講師 新潟県福祉保健部 医務薬事課薬務係 滝川泰弘氏(新潟・長岡)

同薬事指導係 山下洋佑氏(新潟)

同薬事指導係 杵鞭 章氏(長岡)

講演 医療機器の品質管理、不具合報告及び回収報告、情報提供

講師 新潟薬科大学薬学部 臨床薬学研究室 教授 朝倉俊成氏

(3) DEM事業の広報(継続)

日薬が行うDEM事業について、会員の勤務する保険薬局に対し周知して、事業への参加を啓発した。

8 在宅医療・介護対策

(1) 在宅医療に関する薬剤師のスキルアップの支援(拡充)

① 地域医療介護総合確保基金事業新潟県計画「退院促進のための薬剤師による服薬支援推進事業」の一環として、新潟県より「在宅医療(薬剤)人材育成事業」を受託し、以下の研修会を開催した。

・フィジカルアセスメント研修会(5会場:三条・小出・新潟・新発田・上越)及びフィジカルアセスメントフォローアップ研修会(5会場:上越・魚沼・新発田・三条・新潟)

講演・実技 薬剤師に必要なフィジカルアセスメント

講師 新潟県薬剤師会副会長 小幡 聡氏(魚沼)

新潟県薬剤師会常務理事 笠原敦子氏(県央、新潟)

新潟県薬剤師会常務理事 五十嵐 央氏(魚沼、上越)

新潟県薬剤師会在宅医療委員会本部委員 川俣春江氏(新潟、下越)

新潟県薬剤師会在宅医療委員会本部委員 吉田智彰氏(県央)

新潟県薬剤師会在宅医療委員会本部委員 竹野敏彦氏(下越、上越)

・在宅患者アセスメントと多職種への提案のための研修会(3会場:新潟・長岡・上越)

講演 多職種連携のための在宅アセスメント

グループワーク 薬剤管理の症例検討及び多職種連携のスキルの習得

講師 新潟県薬剤師会在宅医療委員会本部委員 吉田智彰氏(新潟、長岡)

新潟県薬剤師会在宅医療委員会本部委員 川俣春江氏(上越)

- ② 地域医療介護総合確保基金事業新潟県計画「在宅医療基盤整備事業」の一環として、新潟県より「在宅医療(薬剤)環境整備事業」を受託し、以下の研修会を開催した。

・無菌調剤に係る基礎研修会(2会場:新潟・長岡)(DVD講義)

講演 無菌調剤室の共同利用のための手続き

講師 新潟県薬剤師会副会長 渡邊 彦氏

講演 無菌調剤の基本的手技

講師 日本歯科大学新潟病院薬剤科・新潟県病院薬剤師会 竹野敏彦氏

講演 輸液について ～水・電解質編～

講師 新潟大学医歯学総合病院薬剤部・新潟県病院薬剤師会 山下恒弘氏

・無菌調剤室の共同利用の契約に必要な知識・技術の習得を図り、無菌調剤室の共同利用の推進を目指し、「無菌調剤室における実技研修」を計16回開催した。(新潟、下越、長岡)

・1から始める、輸液ポンプ研修会(新潟)

第1部 実習説明「輸液ポンプやルートの理解」、実習「輸液ポンプ、ルート等の実践」

講師 新潟県薬剤師会理事 宮川哲也氏

第2部 特別講演「地域包括ケアシステムで必要な在宅輸液療法の知識と技術」

講師 三原市医師会病院薬剤科長 増田修三氏

- ③ 地域医療介護総合確保基金事業新潟県計画「認知症ケア人材育成事業」の一環として、新潟県より「平成29年度新潟県薬剤師認知症対応力向上研修事業」を受託し、以下の研修会(3会場:新潟・長岡・上越)を開催した。

第1部 講義「薬剤師認知症対応力向上研修」

講演 認知症の基礎的知識(新潟・長岡)

講師 総合リハビリテーションセンター・みどり病院院長 成瀬 聡氏

講演 若年性認知症とうつ病(上越)

講師 高田西城病院院長 湯浅 悟氏

講演 「薬剤師認知症対応力向上研修」対応編

講師 新潟県薬剤師会在宅医療委員会本部委員 押山貴光氏(新潟)

新潟県薬剤師会在宅医療委員会本部委員 吉田智彰氏(長岡)

新潟県薬剤師会常務理事 佐藤宏之氏(上越)

講演 「薬剤師認知症対応力向上研修」制度編

講師 新潟県福祉保健部高齢福祉保健課在宅福祉係 高橋正子氏

第2部 薬剤師の対応グループワーク

グループワーク① 早期の認知症に対する薬剤師の気付きと対応

グループワーク② 認知症患者に対する薬剤師からの支援・提案等の具体的対応

- ④ 地域薬剤師会における在宅医療の推進を支援するため、地域薬剤師会担当者会議を開催した。

- ⑤ 在宅医療における会員の活動事例や医師等からの学術的寄稿を会誌「ジャーニファ」に掲載して薬剤師の資質向上を図った。

(2) 医療・福祉等との連携促進(拡充)

- ① 「在宅医療(薬剤)環境整備事業」として、無菌調剤室共同利用にかかる多職種連携会議を開催した。また、薬剤師による訪問業務や訪問薬剤管理指導の意義、在宅医療においても多様な薬物療法を選択できることを広報するため、小冊子「在宅療養における注射薬の利用の手引」を作成、医療機関等へ配布した。
- ② 多職種との連携促進を図るため、「在宅ケアを考える集い in 越後2017」実行委員会に参画し、ブース出展して服薬支援策や薬剤師の訪問薬剤管理指導の紹介を行った。
- ③ 新潟県が実施する「介護予防活動普及展開事業」に助言者として参画した。
- ④ 後期高齢者広域連合と新潟市薬剤師会が行う「重複投薬者訪問相談事業」に関する会議へ協力した。

9 医薬品販売制度への対応

(1) セルフメディケーション推進のための一般用医薬品等の活用等に関する啓発活動(継続)

- ① 健康サポートのための薬剤師の対応を支援し、「にいがた健康支援薬局」の参加要件とするため、研修会を開催した。
 講演 薬剤師の臨床診断と一般用医薬品適正使用研修会(頭痛編)
 講師 昭和大学医学部教授 木内祐二氏
- ② 日薬の「薬剤師の臨床診断に基づく要指導医薬品・一般用医薬品の適正な販売に関する研修会」に参加して情報収集を行った。
- ③ 「セルフメディケーションハンドブック2017」を購入し、県薬研修会で配布した。また、「健康サポート薬局」や薬のセミナー、県民向けイベント用に提供して、一般用医薬品の活用について啓発活動を行った。
- ④ 一般用医薬品販売制度やセルフメディケーション税制について、ジャニファ及び県薬ホームページ等で広報し、会員への情報提供に努め、薬局等の対応について支援した。

(2) 医薬品販売制度への対応(継続)

- ① 日薬の「医薬品販売制度に関する自主点検」を行い、会員薬局の法令遵守を啓発した。
- ② 登録販売者の勤務する薬局の開設者に義務付けられている登録販売者の研修会を新潟県医薬品登録販売者協会と共催し開催した。また、この研修会に講師を派遣した。
 講演 薬物乱用について
 講師 新潟県薬剤師会常務理事 桂 重之氏
- ③ 登録販売者の通信研修として新潟県医薬品登録販売者協会の通信講座や日本薬剤師研修センターのe-ラーニングについて会員に周知・サポートした。

10 薬局製剤の推進

(1) 薬局製剤の推進(新規)

- ① 会員への漢方製剤に関する啓発・研鑽を支援する目的で、薬膳料理等をテーマに漢方薬に関する研修会を開催した。また、研修会終了後に、薬膳昼食会を開催した。
 講演 漢方から考える食事
 講師 新潟県薬剤師会一般用医薬品・薬局製剤・漢方委員会本部委員 廣橋義和氏
 講演 気軽に楽しめる薬膳レシピ ～冬から春に向けて～

講師 新潟県薬剤師会一般用医薬品・薬局製剤・漢方委員会本部委員 西山淳子氏

- ② 薬局製剤等に関する情報をジャンプ、メールニュース等で会員へ提供した。

11 薬剤師養成のための薬学教育への対応

(1) 実務実習受入体制の整備と指導薬剤師の資質向上(継続)

- ① 関東地区調整機構から依頼を受け、平成30年度及び平成31年度の薬局実務実習受入表明についての調査を行った。
- ② 関東地区調整機構からの調整依頼により、実務実習受入表明薬局と薬学生とのマッチングを行った。
- ③ 認定実務実習指導薬剤師認定更新のための講習会を開催した。
- ④ 充実した実務実習の実現のための県薬と地域薬剤師会担当者との意見交換会「薬局実務実習地域薬剤師会担当者会議」を開催した。
- ⑤ 改訂モデル・コアカリキュラムに対応した実務実習を円滑に実施するため、アドバンスワークショップを薬学教育協議会、関東地区調整機構、新潟県病院薬剤師会と共催して2回開催した。
- ⑥ 改訂モデル・コアカリキュラムに対応した実務実習を円滑に実施するため、日薬の「薬局薬剤師のための薬学生実務実習指導の手引き改訂版」に基づく学習成果基盤型教育の評価を行うトライアル実習実施に協力依頼した薬局を対象に、説明会を開催した。

(2) 関東地区調整機構・日薬会議への参加(継続)

- ① 薬学生実務実習の円滑な実施を図るため、日薬の薬局実務実習担当者全国会議及び薬局実務実習受入に関する関東地区ブロック会議に参加した。
- ② 薬学生実務実習の円滑な実施を図るため、関東地区調整機構総会、指導薬剤師養成小委員会に出席した。
- ③ 関東地区調整機構及び長野県薬剤師会の要請により、関東地区調整機構主催認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップにタスクフォースを派遣した。
- ④ 新潟薬科大学・新潟県病院薬剤師会・新潟県薬剤師会が共催して実務実習研修会「『もうすぐ変わる』薬学生実務実習」を開催した。
- ⑤ 新潟薬科大学から依頼を受け、改訂モデル・コアカリキュラムに基づく実務実習に向けた、新潟県薬剤師会、新潟県病院薬剤師会、新潟薬科大学による三者会議に出席した。
- ⑥ 新潟薬科大学の平成29年度臨床実務実習事前説明会及び平成28年度臨床実務実習成果報告会に出席した。

12 地域保健対策の推進

(1) 「消費者のための薬のセミナー」の開催(継続)

地域の健康維持と保健衛生の向上に資するため、新潟県からの事業委託による「消費者のための薬のセミナー」を、実施団体からの依頼を受けて、地域薬剤師会と連携し、講師として薬事衛生指導員を派遣して開催した。

(2) 薬物乱用防止事業の推進(継続)

- ① 新潟県等の依頼を受け、薬物乱用の未然防止を図るためのポスターやリーフレット等の啓発資材を地域薬剤師会へ送付し、薬のセミナー等で配布して広報啓発に努めた。
- ② 薬物乱用防止啓発資材(ポケットティッシュ)を作成し、県へ寄付した。
- ③ 新潟県薬物乱用対策推進本部会議の本部委員として参画して、行政との連携を図った。

(3) 薬事衛生指導員研修会の開催(拡充)

薬事衛生指導員の資質向上と新任薬事衛生指導員の養成を図り、薬事衛生指導員同士が顔の見える関係性を築けるよう研修会を開催した。

講演 わたしのお薬セミナー

講師 新潟県薬剤師会薬事衛生指導員 齋藤大幸氏

新潟県薬剤師会薬事衛生指導員 伊藤敏紀氏

(4) 「薬と健康展」等、薬事啓発事業の実施(継続)

- ① 小千谷市が主催する「第36回おぢや健康福祉まつり」において、新潟県薬事団体連絡協議会と共催し、魚沼薬剤師会の協力を得て「薬と健康展」を開催した。
- ② 新潟県健康づくり財団が主催するがん征圧新潟県大会併設「生活習慣病予防展」(新発田市)、新潟はっぴー乳ライフ主催「ピンクリボンホリデー2017」(長岡市)に地域薬剤師会の協力を得て参加した。
- ③ ジェネリック医薬品の正しい知識を県民へ啓発するため、テレビ番組を制作し放送した。また、薬のセミナー等を活用し、ジェネリック医薬品の説明等を行うとともに、他団体主催の健康関連イベントにて啓発資材を配布した。
- ④ お薬手帳の活用等について県民への理解を深めるために、啓発資材を作成して薬のセミナー及び健康関連イベントにおいて配布して広報・啓発した。また、かかりつけ薬局の定着を図るための啓発資材を配布して広報・啓発に努めた。
- ⑤ かかりつけ薬局及び薬剤師の訪問薬剤管理指導について県民へ広報するため、薬のセミナー及び健康関連イベントにおいて啓発チラシ「薬剤師がご自宅へお伺いします！」を配布して広報した。
- ⑥ 日薬作成の「知っておきたい薬の知識」を購入し、健康関連イベント等にて配布するなどして、正しい薬の知識の普及・啓発を図った。

(5) 自殺予防対策の推進(継続)

- ① 自殺予防のためのゲートキーパー指導員養成研修会の修了者を対象にフォローアップ研修会を新潟市で開催した。

講演 薬剤師の自殺予防活動の実際

講師 新潟県薬剤師会自殺危機初期介入スキル研究会認定講師 今井理央子氏

講演 うつ病と自殺について

講師 三島病院精神科部長認知症疾患センター副センター長 田中 晋氏

グループワーク うつ病と自殺について

- ② 地域薬剤師会においても、自殺危機にある方へ薬剤師としての初期介入ができるためのゲートキーパー指導員養成研修会の開催を呼びかけ、地域薬剤師会の依頼を受け講師を派

遣した。

③ 新潟県自殺予防対策推進県民会議に出席した。

④ 内閣府の自殺対策支援情報検索サイトへフリーダイヤル無料お薬相談を登録した。

(6) 禁煙対策の推進(継続)

県民へ禁煙について広報・啓発するために、当会及び健康増進団体等が主催するイベントにおいて啓発資材を配布した。

13 ドーピング防止対策の推進

(1) ドーピング防止研修会の開催(新規)

妙高市で開催された「にいがた妙高はね馬国体」に対応するため、薬剤師を対象として「2018年禁止表国際基準」等ドーピング防止に関する知識を習得するための研修会を上越地域で開催した。

(2) ドーピング防止に関する啓発・広報活動の推進(継続)

① 適正なドーピング防止活動を行うために、ドーピング防止ガイドブック2017を会員薬局及び会員所属の医療機関に配布した。

② ドーピング防止関連情報を会誌「ジャニファ」及びメールニュースに掲載して会員へ広報した。

(3) ドーピング防止のための研修会への参加(継続)

会員及びスポーツファーマシストのドーピング防止活動を支援するために、日薬の都道府県薬剤師会スポーツファーマシスト担当者合同研修会に参加した。

(4) 他団体との協力(継続)

三師会や新潟県体育協会等と連携を図り、ドーピング防止活動を推進した。

14 電話相談事業の推進

(1) 電話相談の対応(継続)

新潟県からの補助事業として、フリーダイヤルの活用による一般県民からの薬に関する電話相談に応じた。

15 学術研修・生涯教育の充実

(1) 新潟薬学会の開催(継続)

会員の研究発表及び薬剤師としての学術的研鑽を支援するため、新潟県病院薬剤師会と共催で第158回新潟薬学会を開催した。

特別企画 医薬品情報業務の取り組み

特別講演 薬物相互作用情報の読み方・使い方

講師 慶應義塾大学薬学部薬学研究科教授 大谷 壽一氏

(2) 学術研修会の共催(継続)

新潟薬科大学「薬剤師生涯教育講座」、新潟県女性薬剤師会春期研修会及び秋期研修会、新潟県学校薬剤師研修会を共催して広報活動を行った。また、各種研修会等を後援することにより、生涯学習の機会を提供した。

(3) 薬剤師生涯学習関連事業の推進(継続)

- ① 日薬の生涯学習支援システムの周知・啓発に努めた。
- ② 効果的な薬剤師の生涯学習を推進するために、地域薬剤師会と連携して、会員の生涯学習の環境整備を図った。
- ③ 北陸信越薬剤師大会・学術大会の情報提供、発表・参加支援を行った。
- ④ 日薬の生涯学習担当者全国会議に出席して情報収集を行った。
- ⑤ 日薬の平成29年度薬剤師生涯教育推進事業次世代薬剤師指導者研修会に出席した。

(4) 薬剤師の臨床研究・疫学研究に関する倫理審査等の体制整備(新規)

- ① 倫理審査等に係る準備委員会を開催し、学術研究倫理審査委員会の運営に必要な事項の検討及び、審査申請に必要な手順書・申請様式等を作成した。
- ② 研究倫理に関する研究者向け研修会を開催した。
 - 講習1 「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」について(e-ラーニング講習)
 - 講習2 薬剤師が行う研究とは～倫理審査と利益相反(e-ラーニング講習)
 - 講演 新潟県薬剤師会学術研究倫理審査委員会の審査申請等について
 - 講師 新潟県薬剤師会副会長 仲村スイ子氏
- ③ 日薬の「研究倫理に関する担当者全国会議」に出席して情報収集を行った。

16 広報・情報活動の推進

(1) 会誌「ジャニファ」の定期刊行(継続)

- ① 会誌「ジャニファ」を年6回発行し、学術的研鑽・会員の交流の場等になるよう寄稿を積極的に働きかけ、掲載内容の充実に努める等、県薬活動の広報強化並びに会員への情報提供の充実に図った。
- ② 日薬学術大会の取材活動を行い、会誌「ジャニファ」に掲載した。

(2) 日薬データベースへの参加(継続)

日薬データベース「Bunsaku」及びQ&A共同入力事業に参加した。

(3) 図書の整備(継続)

薬事情報センター機能の充実に図るため図書及び研修用DVD等の整備に努め、薬物乱用防止教室資料等の貸し出し等を行った。

(4) 薬事情報に関する研修会への参加(継続)

日薬の薬事情報センター実務担当者等研修会に出席した。

(5) ホームページの管理(継続)

新潟県薬剤師会及び薬事情報の発信及び更新を行い、広報・啓発に努めた。

(6) メールニュースの配信(継続)

会員へのメールニュースの配信により、即時性のある情報を提供した。

17 三師会等関係団体との連携

(1) 三師会との連携(継続)

- ① 新潟県における医療、保健、福祉の向上に寄与するため、新潟県三師会連絡協議会に参画して連携を強化した。
- ② 新潟県三師会連絡協議会の目的、事業である県民の医療、保健、福祉に関する事項を達成するため、県民向けの健康セミナー2017の実行委員会及び当日のスタッフとして参画した。
- ③ 三師会社会保険担当理事連絡協議会へ参加して、指導状況等について情報交換を行った。
- ④ 三師会・支払基金・国保連合会保険事務懇談会に出席した。

(2) 新潟県民医療推進協議会との連携(継続)

- ① 新潟県民の健康の増進と福祉の向上を図るため、新潟県における医療・介護・保健及び福祉行政の拡充強化をめざして、三師会等関係団体で構成する新潟県民医療推進協議会に参画して連携を強化した。
- ② 健康寿命延伸にかかる多職種協働推進委員会に参画して構成団体と連携を図り、「健康寿命延伸フォーラム2017」へブース出展してお薬相談及びポスター等の展示、啓発資材の配布を行った。

(3) 新潟県薬事団体連絡協議会との連携(継続)

- ① 構成団体相互協力のもとに、業界の発展、公衆衛生の向上及び県民の健康維持増進に寄与することを目的とする新潟県薬事団体連絡協議会に参画して連携を強化した。
- ② 新潟県薬事団体連絡協議会の事務局を担当して総会を開催し、薬と健康展等の事業の運営を担った。

(4) その他の関係団体との連携(拡充)

- ① 公益財団法人新潟県健康づくり財団に参画した。
- ② 新潟県糖尿病対策推進会議に参画した。
- ③ 新潟県歯科保健協会に参画した。
- ④ 新潟県小児保健研究会に参画した。
- ⑤ 新潟母性衛生学会に参画した。
- ⑥ 新潟栄養・食生活学会に参画した。
- ⑦ NPO法人新潟難病支援ネットワークに参画した。
- ⑧ 新潟県学校保健研究大会に参加した。

- ⑨ 独立行政法人日本スポーツ振興センター学校安全業務運営会議に参加した。
- ⑩ 公益財団法人新潟県臓器移植推進団体に参画した。
- ⑪ 新潟県交通安全対策連絡協議会に参画した。
- ⑫ 新潟県介護支援専門員協会に参画した。
- ⑬ 公益社団法人にいがた被害者支援センターに賛助会員として参画した。(新規)

18 北陸信越ブロック薬剤師会との連携

(1) 北陸信越ブロック連絡協議会との連携(継続)

北陸信越ブロック連絡協議会に参加して、北陸信越ブロックの各薬剤師会と連携を図り情報交換に努めた。

(2) 日薬(北陸信越)ブロック会議への参加(継続)

日薬(北陸信越)ブロック会議に参加し、日薬及びブロック内の各薬剤師会と情報・意見交換を行った。

19 日本薬剤師学会大会への参加

会員の資質向上に寄与するために、日本薬剤師学会大会に役員等が参加して会誌「ジャーナル」で報告した。

20 第57回北陸信越薬剤師大会及び第50回北陸信越薬剤師学会大会の開催

第57回北陸信越薬剤師大会及び第50回北陸信越薬剤師学会大会を新潟市で開催した。

会 期 平成29年9月17日・18日

会 場 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

大会テーマ 発揮せよ!きらっと輝く薬剤師力 ～かわりゆく未来の中で、しなやかに～

シンポジウム 発揮せよ!きらっと輝く薬剤師力 ～かわりゆく未来の中で、しなやかに～

特別講演 新潟清酒の魅力

講 師 新潟県醸造試験場場長 金桶光起氏

演題発表 口演発表:29題、ポスター発表:36題

参加者数 834名

【 附 属 明 細 書 】

事業報告を補足する事項はありません。